婦人新報

十月號

第貳百七拾八號目次

□英文　片山國嘉
□報告
□先代小林富次郎翁の賜
□我國の禁酒は神代から
□婦人矯風會に勸む　小崎道雄
□二疋の蛙　櫻井ちか子
□矢島先生を歡迎して　山室軍平
□禁酒運動と婦人團體　守屋東
□問題になつた小冊子　矢島楫

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□矯風會販賣圖書目録□□

書名	著者	定價
□バトラ夫人傳	矢島楫著	(50)錢
□性慾と健康	小松武治著	(60)
□父	久布白落實著	(200)
□小草	金澤氏著	(100)
□基督教新建設	久布白直勝著	(150)
□イスラエル物語	大橋房子著	(200)
□葡萄の花	大橋房子著	(200)
□傳道用小冊子	各種	
□禁酒演説集	二部宛	
□禁酒軍歌	數種	

□御注文次第お送り致します

婦人矯風會本部

赤坂、新町三ノ四六

社告

□婦人新報定價（郵税共）

一年分（前金） 金壹圓八十錢
半年分（前金） 金九拾錢也
一ヶ月分（前金） 金拾五錢也
（郵券代用一割增）

□廣告料

一行（五號活字） 金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也

振替口座東京三二四六九

編輯事務所及 婦人矯風會本部

大正九年十月十三日印刷
大正九年十月十四日發行

發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 守屋東
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地 婦人矯風會事務所
印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷株式會社

No 278 Oct., 1920

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. About the Tract Newly Printed...Madam Kaji Yajima.
2. Prohibition and the Different Woman's Associations............Miss A. Moriya.
3. Congraturating the Return of Madam Yajima......................Colonel G. Yamamuro.
4. The Two Frogs ....Madam Chika Sakurai.
5. My Advice to the W.C.T.U. ....Mr. M. Kozaki.
6. Our Prohibition from the Time Immemorial.........................Dr. K. Katayama.
7. The Gift of the Late Tomijiro Kobayashi...........................Mr. R. Hibino.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,

Tokyo, Japan.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

問題になつた小册子

(藝者とは何ぞや)

矢島楫

此夏輕井澤で開かれました在日本外人婦人矯風會で委員が擧げられて一つの小册子が英文で編輯されました、其小册子の名は「What is the Geisha」藝者とは何ぞやといふのであります、此小册子は何の爲に外國婦人矯風會員の間に於て最も必要なものとして編まれたかと申ますと、

一、此十月に開かれる日曜學校大會に代員として來る人々に藝者の內容は斯く〳〵のものであると知らせて注意を與へたい故。

一、日本では貴賓の接對から一般の歡迎にまで藝者を持つて接對する事になつて居るから或はそういふ場合に出合はないとも限らない、其時に決して普通尊敬を拂ふ淑女と一緒にすべきでない。

一、此種の社會制度に對しては何とか方法をつけて改造して行かなければならない責任をお互に有つて居る。

といふやうな事でございまして、數名の知名の士が演說された記事或は話された事を拔萃して書いたものでございます、實によく書きあつめたものでございます。

□外字で印刷された時

日本の字か言葉では常に聞きまた書いて、國家の體面上また人道上何とかしなければならないと叫んで居るのでございますが、斯うして外字で國の恥づべき制度が一々指摘して記されて見ますと、實に心を痛られるやうに存じます、只四五ケ處大きな間違がありましたので此印刷物を、目的通り配布する事は相談の上中止いたしました、然し乍ら私は考へて見て此一事は大なる警告を日本國人に與へたものだと存じます、藝妓其人は何も憎むべきものではありませんが藝者稼業の裏面が殆んど娼妓と同じもので或は反つて不自由な娼妓よりも藝者の方が、家庭に社會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に害を及ぼす事は大きいものであるといふ事を、事細かに調査して知つて居る外人達が「日本の藝者ガールは名高いものであるが實に恐るべきものだ」と來朝する故國の人に注意書を發するやうになつたといふ事實は、例へ其の小冊子を配布する事を中止したとはいへ容易な事ではないと思ひます。

□二夫人の來訪

此小冊子の事が新聞に記載されました後、眞に憂ふる二夫人は來會されまして種々な質問とまた感想とを述べられました。

一、藝娼妓の問題は内國人が幾ら聲を嗄して呼んでも容易に世間も當局も取り扱つてくれぬ。

一、外人は前記の事實を事實で見て居る、外來の客には必ず、藝妓を接對として出して居る、そこで日本人を待たずに外人自分達が新たらしく來朝する故國の人々に恐るべき恥つべき藝妓の内容を知らせて接する機會を作らせないやうに保護するのでせう。

一、一夫人が歐米漫遊の時行く處にて日本に來遊した紳士淑女に遇ふときは露骨にまた圓滑に、日本で藝者を接對者として出された不愉快と不滿とを訴へられ身のおき處に苦しんだ事。

一、是非此機會を失せず、日本の紳士淑女といふ人々に其小冊子を配布して頂きたい事。

等を熱心に語られました。

□國内の輿論を起したい

外國にある同胞が排斥されし一部面は内地の公娼、藝妓の存在が大きな原因である事に私共は氣付かなければならないのでございます、勿論これのみとは申ませんが、また決して誤つた見解ではございますまい、宣教師の人々も決して日本の恥を洒すなどいふ意味でなく全く案じて下さつた結果此小冊子も生れたものと思ます、玆に於て私共は他山の石となさず、此小冊子を大に用ひて國内の輿論を起し、外賓を歡迎する場合は勿論、公會の席上には藝妓の影を見ないやうにいたしたいものでございます、外國を識る人は誰れも外國の半面に同じく此種の恥と禍とがある事を知つて居ます、同時に夫等のものは決して我國の樣に表面に活動して居らない事も認めて居ります。

外人が嘗かなければならないやうにした、此事實について私共國民は責任を持つて改造しなければならぬと思ひます。

禁酒運動と婦人團體

守屋東

口新眞婦人の新運動

禁酒運動がキリスト教の專有物であると見做された時代は過去であつて今日では、此禁酒運動は民族保護能率增進、或は何、或は何と各方面から其必要を確知され、また其運動が起つて來た事は實に喜ばしい事であります、只理想的な言辭を呈して甲論じ乙駁する時代ではなく、刻々に實行し、確取して行かなければならない時に、西川文子女史が主宰される新眞婦人の紙上に「禁酒運動を起すに就て」の掲載された事は實に感謝に堪へない事です、今御紹介して見ませう。

私共は國民の保健上絶對禁酒を理想とするのですが、一般國民に一足飛びにそれを強いるのは、不可能な事と思ひますから、差當り左の通り制限する事に努力しやうと思ひます。

一、酒類の販賣は午後四時より九時迄とす。

一、一人に販賣する酒量は一日三合をこゆべからざる事。

一、未成年者には絶對に飲酒を禁止する事。

一、結婚葬式其他公衆の會合する席上に酒類を用ゐざる事。

一、貴衆兩院に於て酒類を販賣し並に飲酒するを禁ずる事を請願する事。

一、サルチール酸を酒の防腐劑として使用するヿを禁止する事。

説明

口普通執務時間を午前八時より午後四時迄と見て、執務時間に飲酒の要はありません。若し午後四時より午後九時迄を酒類販賣の時間とし、其の他の時間に於ては一切酒類の販賣を許さぬ事にし、或は其販賣分量を一人三合と云ふ事に法律を以て制定せば、酒類の消費を制限する上に、大に有効であります。

口未成年者の喫煙は既に法律を以て禁止されてありますのに、煙草より以上品行上惡誘引となる飲酒の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禁止されてゐないのは、甚だ不都合です。將來禁酒國たらしむる準備としては未成年者の禁酒が最も必要です。

□議員が議場で酒氣を帶びて、國政を論議する事は、少なくとも教師が教場で酒氣を帶び、官公吏が酒氣を紛々させながら執務して居るのと、同程度に不都合視すべきものだと思ひますから、貴衆兩院内で酒類を販賣するのを禁止する事を請願したいと思ひます。

□サルチール酸は人體に有害なるを以て既に禁止のこととなつて居たに拘らず、無期延期となりましたが是れは矢張り禁止いたしたいのです。

□飲酒から起る弊害は、今更私共が喋々する迄もなく、既に皆様も御存じの處ですが、其當人のみならず、飲酒の子孫に及ぼす惡影響は實に恐るべきであります。

□個人の嗜好上、家庭内にあつて、內密に小量用ゐ、他人に迷惑をかけぬ程度のものは、今暫らくおくとしても、宴會或は多人數集合の場合、殊に嚴肅なるべき葬禮の場合に於て、酒類を用ゐる事は、社會の輿論を以て、是非廢止する様に極力宣傳しやうと思ひます。(演說、路傍宣傳、直接訪問其の他によつて)其の輿論を起す爲めには酒害の實例を集むる事も一方法と存じますから、直接親近者に大酒家ある爲めに、迷惑を受けつゝある方は匿名でよろしいから其の投書を願ひたいと思ひます。御投書下されし方のお宅へは、場合により會員が御相談に上つて、聊さかなりとも慰藉の方法をとりたいと思ひます。

□婦人團體の團結

我婦人矯風會が三十年前より此運動に着手し、人々の未だ何等興味を持たなかつた時代から苦戰して來た我々は今此六ヶ條の提案に對して感謝と同時に手ぬるい感じを持つものでありますけれども、然し猶此事さへ實行されて居らない社會でありますから此新異婦人の運動は當を得たものであると言はなければなりません、そして私共も此新異婦人の運動に參加すべきでございませう、とか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く婦人の運動が其目的を達するに至らないのは他の會の企、或は我會の企畫でないなどといふ狹い小さい考へから一致して大局に當る行動をとらない爲に、大なる輿論ともならず、また其爲に來るべき恩澤にも浴す事が出來ないのであります、若し禁酒運動が全國にある婦人團體の總掛の運動となつたとしたならば實に愉快な事ではありませんか、只愉快といふのみならず、初めて禁酒が我國に於て行はるゝ時代を作り出す事が出來るのでありませう、私は今回の此新眞婦人會が主張され宣言された禁酒運動に、各婦人團體が協力して其實現を一日も早からしめたいと希望します、我婦人矯風會の會員は喜んで此新眞婦人會の運動に應援して共に力を添へませう。

□我會は「酒造全廢」

我婦人矯風會は昨大正八年の大會席上に於て禁酒運動の根本問題として「酒造」に反對の決議をして居ります、即ち酒造全廢であります、此事は豫定の通り一種の人々からまた例の無謀な決議をしたとして物笑の種を作つたのであります、然し過去の歷史は先陣に立つものゝ苦と快とを實驗して居りますので何等懼るゝ事なく其實行につとめて居ります、酒造全廢の請願は議會に提出されたのです、來るべき時もまた此請願は繰り返さるゝ事であります、禁酒に參加さるゝ方々で其本源をつく事が最も必要であると信ずる方は此運動にも記名調印して力を大ならしめて頂きたいと思ます、請願を提出して國民の輿論が如何に眞劍に此問題について考へて居るかといふ事を一番深く知り、また研究して頂かなければならない議員諸氏が、其大多數は、議場に酒の勢を以て出入さるゝといふ現在にありますから、此運動は實に容易なものではありません、從つて斯くの如き運動は一片の感情論に立脚することなく、各方面から研究し、調査して其報告を擧げ追及して行かなければならないのであります、外國の例もよしされど日本に於ける統計、或は調査はまたよく人心に深く刻まれて此運動を成効せしむる最近の方法にあると思ます。

□人類共同事業

米國に於ける禁酒運動が利に最も

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

巧妙なる保險會社の必要と認むるところとなり、人命を托して其命の支配を受くる醫術の進步が酒は人身に不必要の毒物と認められ宣傳されてから人道上より或は道義上より酒害を叫んだ處に力が加はつた如く、習慣性嗜好物として使用せられて居る酒を廢するには、利、德、害、の各方面から指示し警告しなければならないのであります、實に人類の共同事業です、新眞婦人會が其一部の働きとして大酒家より受くる迷惑を投書するやうにとの事でありますが、猶進んで工場に於ける禁酒の結果能率增進せる統計或は、其職工の家族の禁酒後の家庭生活等をも蒐集さるゝやう願たいのであります、若し貸家などに於て酒飲みには家を貸さないなどゝいふ一條項が加へられましたなら餘程面白い結果を見ることであらうと思ひます。

□少年少女時代の敎育

第四項の結婚葬式其他公衆の會合する席上に酒類を用ゐざる事の一項が嚴守さるゝやうになりましたら、今日の會合と全く一變したものが出來ると信じます、地方巡回の時處々に於て結婚葬式等の席上酒を用ゐざる規定を作つた郡、或は村に宿ることがありますが、其地方の人々の言ふ處によると郡長、村長の交迭と共に其事もまた變化されるので或場合反て困るといふ事を耳にしました、然しこれ等は充分に禁酒の敎育の行き屆かざるのと、また只上よりの命令による弊と思ひます、禁酒運動の如き文化運動は是非とも充分なる敎育を必要とします、其處に於て初めて少年少女時代から此禁酒學課を授づくる必要も明瞭になるのであります、今日の小學敎科書は禁酒學課の影を見ません、只僅かに一二回抽象的に酒の害が示されてあるのみです、斯かる敎育を受けた少年少女が、社會に出て酒害を受けぬ道理はないのであります、私は酒造全廢と共に、少年少女に對して酒害についての徹底せる敎育をなす事は何より大切な事であると信ずるのであります。

兎に角、日本の禁酒運動に就ては婦人の覺醒と、婦人團體の確き提携とを望んでやまぬものであります。

矢島先生を歡迎して

山室軍平

私が活版小僧をして居つた時でございますが、初めて基督教信者になりまして、それから或日のことでありますが、築地活版所に居たのですから、彼處の木挽橋といふ橋を渡りまして、——木挽橋と云ひましたか、兎に角木挽町三丁目の邊を鉛の一ぱいつきました妙な古い洋服を著て、靴なども買ふ錢がなかつたものですから冷飯草履の薙刀なりになつたのを穿いて、其邊をぶらついて居りました。只今宿屋になつて居ります厚生館といふのが當時演説會場でありましたが、その厚生館の前に何だか立看板が出てゐる、それを見ますと婦人矯風會大會と書いてある、さうして束髮を結ふた女の人が頻りに其處に出入りしてゐる、成程斯ういふ人が矯風會といふものをやる方か知らん、偉い女の方々が此處に見えてゐるのであらうと活版小僧は感心しながら表で暫く眺めて居つたことがあるのであります。今晩は外で眺めて居るのでなしに、内で一緒にその矯風會のお催しに出られるのだ、實に不思議な有難いものだとさう思つて此處に座つて居つたのであります。

□此處に歡迎會を

矢島先生がお立ちになりまする前に、遠い所を他にもお廻りになるお序でもあつたのでせうが、此處にお立寄り下さいまして「愈々お立ちも近くなりました」といふ御挨拶を申上ますと先生が申されるのに「實は今度は送別會をして貰ひませんでした」といふお話である、成程さういへば先生の送別會のことは一向聞きませんで、又私共も迂つかりして居りましたが……けれ共まあ是非共先生のお立ちの時には停車場迄お見送り申します」と申しました、所が先生が申されるのに、「貴方が停車場迄お見送り下さるならば、立つ前に一遍貴方にお祈りをして貰ひませう、それを送別會の代りにして置きませ

う」斯ういふお話である、どこまで悟りをばお開きになつた解つた話かと存じまして「必ずお送りに參ります、その代りお歸りになつた時には是非歡迎會をやらして戴きませう」と斯ういふやうな御挨拶を申上げて置いたのでございますが、御覽の通りに無事なお體でお歸りになりまして、斯ういふ集會の出來ましたことは、誠に御目出度いことゝ存ずるのであります。嬌風會のなさらねばならぬやうな仕事は、今後の日本に益々必要な仕事でありますから會長を初めとして其他の方々が益々御盡力下さつて、この場合に充分嬌風會の働きを擴張して戴きたいものと存ずるのであります。

□一小册子を手にした

その以上に何を申上げたらいゝであらうか、一寸分らないので、嬌風會に多少關係のありまするとことで、實は昨日私の手に薄つぺらな小册子でありますが、ホワット、イズ、エ、ゲイシャといふものを貰つたので「藝者とは何ぞや」斯ういふやうな名前の英語で書いたたつた十二頁の小册子である、見て吳れろといふので見たのでありますが、どうも誠に恐入つた譯である。藝者といふものは日本に存在して居りますから、斯ういふ小册子が出て來ても仕方ない何のために出來たのであらうか私は能く分りませぬけれども、或場所に「汝、好精神を持つたる米國の議員よ、汝日曜學校の教師及び基督教教育者、何故斯ういふ問題を默つて見てゐるか」斯ういふ書き方をして居るので、それによると多分今度日曜學校大會あたりに來る人に撒かれるのではないかと思ふ、斯ういふものを撒かれた日には誠に困つたことだと思ふので注意して之を讀んで見たのです。その讀んで見ました所感を一寸十分間ばかり前に申上げて、さうして歡迎の辭に代へたらどうかといふ氣になつてゐるのであります。

□絶對的無遠慮に

小册子の一番初めの方に書出してありまするのは、日本の米國に行つて居りまする幣原大使が日米關係を論じました文章の中に「どうか兩國民は絶對的無遠慮に打明けて談じ合はうぢやないか」斯ういふことを言はれたが、その筆法を藝者の問題に

持つて來て、絕對的に無遠慮に打明けた所を茲に言つてみるのだと、斯ういう書出しで認めてある。その小冊子の材料は主に日本人の書いた文章や演說の筆記の引用がしてあるのです。このあひだ出ました「解放」といふ雜誌にその問題がありましたのでその場合のが澤山引いてある、私共の少しばかり雜誌記者に話したのも此處に引いてあるのであります。その外に外國人の書かれた文章なども段々引いてありました、大體から云へばこれは人の言ふたことを編纂したものゝやうである、文の所々に編輯人が自分の意見のやうなものを交へてゐるのであります。これを讀んで見ますと、大體から云へばエライ問題はないけれ共、二三ヶ所斯ういふことを書かれては誠に困ると思ふ事がありまするのは、或場所に私などの雜誌記者に話しました藝者の數などが引いてある。

□誤つて記されたのは實に困る

何のために斯ういう編輯の仕方をせられたか知りませぬけれども、私共內務省に當つて知つて居る、殘念な事ですけれ共實際あるだけの數を言ふのです、日本では一昨年の暮れ藝者の數といふものが五萬四千四百六十二人あつたのです、これは間違ない筈である、所がそれだけ引いてあるなら殘念だけれどもあるのだから仕方ないのですが「日本に於ては如何に社會的害惡を扱ひつゝあるか」斯ういう文章を書いた人があるものらしい、その文章の中に書いてあることを引きまして、一說にはその人の說く所によると日本の藝者は五十萬人あるといふて斯ういふ表がある、藝者といふものは皆其筋に登錄してあるのでありますから、五萬四千四百六十二人あると云つたらあるにして貰はなければならぬ、その樣子を知らないで五十萬人ゐるからといつてこれを書き込んである、十倍の數が書いてある、斯ういふ事は誠に困る、事實を謬るの甚しいものだとさう思つたのです。

□藝者の養成

それから今一つの場所にある人の言ふたことを引きまして、藝者になる女などゝいふ者は五歲六歲或は言ふ八九歲その頃から藝者屋のお主婦さんに貰はれて其處で何等の知識的

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教育を受けず、又個人的品性の如きことは嘗て考へさせられないのだと、斯ういふやうに書いてある。個人の品性の如きは嘗て考へさせられないと言はれてもこれは致し方ない、事實であらうと思ひますが、何も知識的教育を受けないといふのはこれは間違である、兎も角も學齡兒童になれば藝者屋に居りまする娘でも學校に行つてゐることだけは間違ないことである。けれどもさういふ者が學校へ行つてそれでは何うなるのだらうか、藝者になる筈で養成を受けて居る娘が尋常小學校に來てゐるのに、藝者にならないやうにその間に學校で教へ込むことは出來ないものだらうか、今一つの例には藝者になるやうに養成を受けてゐる娘が良家の子女と一緒に小學校に出掛けるといふことが、良家の子女にどういふ感化を及ぼしてゐるだらうか、斯ういふ問題を考へることになると、これは事實を多少誤つて居りますけれども余り大きな聲をして正誤して呉れろといふことも申し兼ねるやうな氣持がするのである。

□教科書と一夫一婦

或人の取調べに依りますと、尋常小學校六年卒業に至りまする迄に、只の一度も教科書に一夫一婦といふことを教へてないといふことである。今も亞米利加の禁酒のお話が段々に出ましたが、私はそれ程よく知りませぬけれ共、亞米利加の禁酒などは何でも明治八年から三十二三年の間まで掛りまして、四十八州悉くの小學校の教科書に禁酒を教へ込んでゐる、小學校の教科書で子供に禁酒を教へ込んで置きさへすれば、大人になつて、年をとつて、酒の癖の附いて改まらぬ者は抛つて置いても好い加減たてば死んでしまふ。新しい人民に禁酒をやつたら宜いのだといふ趣旨から行り出したものと承知をしてゐるのであります。そこで酒の問題としていへば、教育をして置けばそこで禁酒が出來る。教育して置く方が社會改善には便宜が多いのでありますが、日本の小學校では禁酒のことをちつとも教へてないものらしい教師のお用ひになる參考書には酒の害が一篇くらゐ書いてある筈ですが、酒の好きな先生が禁酒を教へ込むであらうとも思はれない、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私共も眞面目に酒を呑んでは可かんぞと忠告をする、酒を呑むな道樂をするなといふことは二日目には誰でも言ふことでありますが、日本の小學校敎育ではその酒を呑むなといふことをも敎へてない、道樂をするなといふことが敎へてあるかないか、敎へてないと云へるかも知れませぬが、少くとも一夫一婦のことを敎へてない、高等女學校に入れば女の操といふものを敎へて貰ふけれども、中學校に入つて男の操といふことは敎へて貰へない、さういふやうな不都合極まる不完全な敎育をされてゐるのであるとすれば、西洋人が日本の藝者になる娘がちつとも知識的の敎育を受けないと書いてあるのは間違で、小學校へ行つて居りますと抗議を申込んだ方がいゝのだらうか、或は入れてゐる學校でどんな扱を受けて居るかと聞かれたらどう云つたら宜いものだらうか、著者に向つて何か言ひたいと思ひますが、實は此點に就て何と言つたらいゝだらうか、寧ろ藪を突いて蛇を出さない方が宜いだらうか、斯ういふやうな氣持ちもして居るのであります。

□誤つた佛敎觀

それから此次にこの小冊子を讀んで今一つの間違は「日本の國で婦人が賣買されて居るのは間違のない話だ、何故かと云へば、日本では女といふものは知識に於てとても男子に及ばないものだと豫て見られて居るのである」そこまではどうもそんな事を言はれても仕方がありませんが、その後でかう書いてあります、「今日本で多數の人の間に行はれてゐる信仰は佛敎から來た信仰で、女といふものは死んで男に生れ變つて來なければ救はれる望のないものだといふのがそれが日本人一般に亘つてゐる佛敎の信仰だ」と斯ういうことが書いてある、私は佛敎は知りませんけれ共、そんなことを敎へてゐる佛敎がどこにあるか知らぬ、迷惑千萬な話で、佛敎の敎としてそんなことが信ぜられて居ると紹介されてはやり切れないのである、是非これは正誤して貰はなければならぬ事であらふと思ひます。

□誤られた法律

この小冊子で一番迷惑に思ひますもう一つの點は「日本の法律によれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ば唯兩親若くば祖父母のみその子供等を醜業生活に賣ることを許されたり」と斯ういふ事が書いてある、日本の法律で兩親なり或は祖父母なりが子供を醜業生活に賣ることを許されてゐるといふのは間違です、間違の最も甚しいものである、多年日本に居つて日本の事情に通じてゐるといふ筈の外國人の書かれた小冊子と存じまするが、斯ういふことを紹介されては困る、泥棒を禁めてあるのに泥棒をする者が居るのが事實であれば何ぼ擧げられても仕方がない、日本の娘を賣買するといふことがどこに法律に許してありますか。禁めてあるけれ共やつて居るといふ事實があるならばこれは致し方ないけれ共、斯ういふ記事のありますのは、何が何でも禁めて貰はなければならぬ、斯ういふものを日曜學校大會に來た外國のお客さんなどに配られて、日本に多年居つてよく事情を知つてゐる者がこれを呉れたなど、こんなものを持つて來て排日の材料にされやうものならば實に困つたものである、幸ひ早く氣が付きましたから、何が何でも斯ういふ事は書き直して貰はなければならぬと、斯ういふ風に考へてゐるのです。

□娘持つ親の喜び

けれども私は唯この小冊子を讀んで二三のさういふ著しい、或は左程でないか知らぬが、或程度の間違を見付けてこれを批難するのでは滿足出來ない、大體から云へばこの小冊子に書いてある他の事實は間違が無いのである、而もその中に書いてある事實に依りますと、一人の日本人がある外國人を訪ねて相談に行つたのである、さうして言ふのに「私には五人の子供がありまするけれ共、不幸にして皆男の子である、一人でも娘が居りますればこんな時に賣つて金にする筈ですが、それが出來ませんから何分お助けを願ます」と云つて來たと、斯ういふやうな事實を記してあるのである。それを言ふた人、それを聞いた人が信用すべき人ですから嘘を言つたのではない、さういふ事實が確かにあつたものと考へられるのである。それから藝者の事を色々小冊子の中に論じた今一つの點は「日本の藝者といふものは色々な男子に觸れてゐるものだから人馴れ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がして誰を對手にでも話をするやうに熟練してゐる、然るに日本の他の婦人達は人馴れて居る人が少ないのであるから、それである場合には放蕩なる男子共の話對手に宜いなどゝ云つて能く戯れるのだ」と斯ういふやうな事が書いてある、これもどうも事實だと言はれても申譯はないことかと思ふのです。

□外人の藝者論

それから或外國人が藝者のことを論じた文章の中に、次のやうな四五の點が書いてあるのです。第一に日本の藝者といふものは、醜業婦である癖に凡ゆる自由を樂しんでゐる、何所へでも出歩き、何所へでも出入するやうな自由な生活を營んでゐる、それが日本の社會に非常な害毒を流す所以だ、第二に藝者といふものは、社會的地位が甚だ著しい所にある、どんな人間とでも交際が出來る、普通の人間なら交際することの出來ない、言葉を交すことも出來ないやうな人に近づいて、勝手放題な眞似をすることが出來るから、それで日本の社會に及ぼす害が多いのであるといふ話である、他の人の云ふたことを聞いて、但し日本でも藝者がいゝものとは思はぬ人があるものと見えて、帝室に御關係の會合だけには藝者を出さぬことになつてゐるのであるがと、斯ういふやうなことが書いてあるのです。三番目に實業界に於ける宴會の席には、藝者が無くちや夜も日も明けないのだ、これを必ず招くことになつてゐる、これが甚だ害毒を流す、第四に藝者は日本で婦人の流行を魁する、日本婦人は藝者がどんな扮装するかといふことを見て、それを見倣つてゐるのである、現に大阪などで小學校の女敎師達が――これは複數を使つてゐるので幾十人だか幾人だか分らぬやうに書いてある――大阪の女敎師などが藝者のやうな眞似がしたいけれ共收入が少いものだから、それでその眞似がしたいばかりに、月廿圓乃至五十圓の餘計の收入が得たいばかりに實業家の妾になつてゐる、斯ういふやうなことが書いてあるのです。

□海外醜業婦

さうして五番目の所に海外醜業婦が三萬人居つて、それが日本から乘

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出して到る所の風教を害して歩いてゐるのだといふやうな話を論じまして、さうして言ふのに君爵子的の米國の議員並に日曜學校の教師及び基督教々育者、斯ういふ問題をどうして置くか、京都へ行つたならば都踊を外國人に見せる、名づけて藝者といふ醜業婦が八十人九十人踊るのを見せるのが外國から來たお客さんへの何よりの御馳走としてある、醜業婦を見せつけられるのにどういふ氣持ちで行くのか、斯ういふやうな事が認めてあるのであります、之は實際です、私共は日本國民として間違つた記事に向いては、これが訂正を申込むことが出來ますけれ共、これは事實です。醜業婦が醜業婦でないといふことに見做されて、日本の上から下迄も跳ね廻つてゐるのである。さうして、今は世界の眞中に斯ういふ問題が曝け出されやうとしてゐるやうな場合でありまするが、私共はどうしたら宜いだらうか、私は多分矯風會の諸君と心を協せて言ふことが出來るであらうと思ふ。

□清き戰に參加せよ

今晩お集りになつてゐる男子諸君の中に、少くとも諸君の間に一人でも斯ういふものを要求する人があつてはならぬ、今日が日まで、只の一度でも、藝者であるか乃至これに似たやうな婦人に關係して居つた男子がこの集りに出ておいでになるならば、同胞の弱者を辱しめて私共の風教を紊つて人道に背いた生活をして居つた人が諸君の間にあるならば、今宵今晩限り永劫さういふ生活を離れて頂きたい、將た又これまでどういふ生活をして居られたにしても、斯ういふ情けないことのためにさなきだに日本國民が受く可からざる恥辱を面上に浴せかけられやうとしてゐる場合に、故なくして恥辱を浴せかけるならば浴せかける者の罪惡である爭ふたら宜い、戰ふたら宜い、我から求めて人の侮りを受くることをどうしてそのまゝに見捨て置くことが出來るか、諸君が一生銘々の立場にゐる限りは、今の時代の日本を淨めるために、同胞の立場を固むるために、力を盡すことがなくてはならぬと存ずるのであります。八十八歳の老軀を提げて歐羅巴まで行つて來られたこの旺んな矢島女史の如き方を眼の前に控えて、私共若い者はどうするか、力を盡してこの場合私共各自の職分を行ふ外ないことゝ存ずるのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二疋の蛙

（歡迎の辭）

櫻井ちか子

私は皆さんの色々お話しになるやうにさう立派な歡迎の言葉を申上げることは出來ませぬが、私は矢島さんがお立ちになる時に「立つ」と仰つたのを皆さんはどうしてあの年をして行けるだらふと言つて多くの人がおとめになり、又「行く」といふ决心を致したのが不思議のやうにお考へになつた方もございました。けれ共私はその時、ちつとも不思議はないと思ひました。誰でも自信があれば何ういふ事でも出來るもので、皆さん御承知のやうにモリソンといふ學者の言ひました言葉に「自信は成功の秘訣」といふことがございます。自信のない人程つまらない人はないと思ひます。自信のない人は何事も出來ない人であると思ひます。矢島先生は自信を持つてゐらつしやいました。必ず自分はこの矯風會世界大會に行つて日本を代表することが出來るといふ自信を持つてゐらつしやいました。又矢島先生はその自信を確に遂行なさることと信じましたから、私はいらつしやるといふことを聞いて不思議に思ひませんでした。成程矢島先生としてその筈だと思ひました。けれ共人は老少不常なもので、いくら若くても年老いても、何處かへ行く時には途中で病氣になる時もあり、色々あります。けれ共矢島先生は自信をもつてお進みなさいました。又それのみならず全智全能の神様が矢島先生と一緒に居らしつて、凡てを御指導なさいましたから、斯くも御無事に、斯くも容易にお歸へりなされたことを私は心から喜びます。私はその嬉しい歡迎の心を、今晩茲に言葉を以て現はすことは出來ませぬ。たゞ心から矢島先生御自身のためにも、亦日本の社會のためにも、矢島先生が無事にお歸へりな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さつたことを喜ぶ譯でございます。さうして私は今晩何か他にお話したら宜いと思ひますが、格別お話すべき問題を持つて居りませぬので、たゞ私が先年三回程亞米利加に參りまして、六回太平洋を渡りましたが、その時の旅行中に聽いた一つの喩へ話があります。それはいつでも私の心をよく刺戟しましたから、或はこの聽衆のお若い方のお心を少しでも益することがあるかと思ひまして、この喩へ話をして歡迎の辭に代へやうと思ひます。

□自信なき蛙

それはかういふのです。亞米利加の百姓は大變凡ての事に富んで居りまして、凡ての事に大變よく行屆いて居りますが、或百姓が牛乳を搾つて――百姓は大概自分ところに牛を飼つて居つて牛乳を搾るのです。その牛乳は夜中に搾つて曉方にその乳を配達する譯でありますが、その牛乳を搾るのはまづ牛乳の鑵を水で洗ぎまして、そうして一度あけまして、それを牛のお腹の所に下げて兩手でギユツ〳〵とやつて搾るのです。

私は牛の乳を搾るところを日本で見たことはありませんで、亞米利加へ行つて初めて見て大變面白く思ひました。百姓家に泊つた時に、朝早く起きて一緒に牛乳を搾りました。――ある百姓が牛乳を搾つて、その牛乳の鑵に蓋をして、朝になつて配達しやうと思つて居りました。ところがある時に一匹の蛙が、夜百姓が鑵を水で洗ぐ時に、その鑵の中にどうかして這入つて居りました。さうしてその蛙が牛乳の中に埋められました。その蛙は氣の弱い自信のない蛙でしたから、その蛙は「これやいけない、この中に入れられたら俺は出ることが出來ない、もう俺は死ぬぞ、――亞米利加の蛙ですから英語で云ふたかも知れないのです。――自分は死なねばならない、もう死ぬるんだ、死ぬるより外ない」と言つて失望落膽しましたから、その蛙は遂にその牛乳の鑵の中で二三時間の中に死んでしまひました。さうして朝百姓が鑵を開けて見たら死んだ蛙が浮いて居りました。

□自信ある蛙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ところが又暫くして、他の蛙がその罐の中に入つて居りました。さうして又同じ方法で牛乳の中に埋められました。ところが今度の蛙は前の蛙と違つて、大變に自信のある蛙でした。それで今度はその蛙が思ひました「どうして私はこの牛乳の罐の中で死ぬものか死んでなるものか、死んではならぬ、死なれるものか、死ぬものか」と云つて、手を藻掻き足を藻掻きして熱心に働きました。さうした所が御承知のやうに牛乳といふものは掻き廻して居ると脂肪分と水分とが分れて、下に滓の出來るもので、その蛙が手を藻掻き足を藻掻きしてゐる内に滓が出來て、その滓の上にちやんと坐つてキヨロ〳〵して居りました。朝になつてその百姓が牛乳の罐を開けると、ピヨコ〳〵と蛙が飛び出しました。

この話は私が亞米利加で聽いた話でありますが、誠に面白い話だと私は思ひました。度々失望落膽する時には、その蛙のことを思出しました。それであなた方もどうか常に矢島先生の御勇氣と、又この蛙の勇氣とを持つて、失望落膽することなく、どんな事があつてもやらねばならぬ、せねばならぬ、出來ると信ずれば必ず出來るもの、素り前の方のお話のやうに、其を仕遂げるについては、色々良い方法を執らねばなりませぬ。

□勇氣。自信。前進せよ

下手な、馬鹿な、平凡な方法では出來ませぬから、それは良い方法を執らねばなりませぬ、けれ共、陸を行くならば鐵道で行つても行ける、道は必ず目的地に達することゝ信ずれば必ず達します。自分は英語が出來ない、英語が出來ないから不自由だといふことをよく聞きますが、出來ない〳〵と言つて居つては何時迄經つても出來ない、これは人に出來るものだから自分に出來ないことはない、一度に覺えられずとも、一語でも二語でも毎日覺えれば必ず出來る、必要と信じたら必ず出來ると思へば必ず出來る。そのやうに教會の事業でも何の事業でも、それはその人一代には出來ないかも知れないが、二代か三代經てば必ずそれは出來る。それで私は常にさう思ひます。どんな事があつても自分がしやうと思つた事は熱心にさへすれば必ず出來ることゝ信じます。どうぞあなた方がお若い方も勇氣を以て、自信を以て、それ〳〵御自分の天職をお盡しなさらんことをお勸めいたします。

婦人矯風會に勸む

（歡迎の辭）

小崎道雄

今夕は私共の最も尊敬し又愛して居りまする矢島會長を歡迎するのでありまして、私のやうな靑二才は昔ならば此所に出ない筈でございますが、先程からお聽き及びの通り、先生は精神的に未だ私共靑年以上の元氣を持つてゐらつしやるのでありまして、私が皆さんの代表として一言歡迎の辭を述べるのは必ずしも不適當でないと存じます。

先生の御元氣の一つの例と致しまして私が聽いて居る話に、この間英吉利の方にお行でになりました時に、先生が序に獨逸も一つ見物して來たいものだといふことをお附きの方に仰つたさうでございます。所が御存じの通り獨逸は大戰の後多くの外國人を入れることを非常に躊躇して居りまして、入國が非常に困難であつて、そのために先生は殘念ながらその旅行をお止まりにならなければならなかつた。その時に先生が「それではこの次に參りました時に參ることに致しませう」と仰つたのであります。

私は先生に殆んど十年振りで紐育でお目にかゝりましたが、十年の間に先生が益々御元氣なのに驚いた次第でございます。次に二週間程致しましてから市俄古のステイションに先生のお著になるのをお迎へ致しましたが、その時は又一層の元氣を以てお著きなさいました。それから又約一ヶ月を經まして桑港のステイションに於て先生をお迎へ致しましたが、今度は先きの二度に勝つた元氣を持つておいでになつたのに驚いたのであります。今夕は又それ以上の元氣で諸君にお話しになつた事を非常に喜んで居ります。諸君と共に茲に多くの靑年男女が今晩お集りになつたことは、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先生の心からお喜びになることであらふと思ひますから、どうか先生の意思を繼ぎまして、吾々の中から第二第三第四の先生を出さなければならぬと言ふことを、私は切に祈つて居る次第でございます。今夕私は一寸十分か十五分の時間を拜借致しまして、私自身の考と致しまして、矯風會に對して平素考へて居ることを申上げて、今日の歡迎の辭に代へたいと考へます。

第一私共が人間の精神生活を考へて見るに、昔から申しました通り智と情と意と、斯う三つの要素があるといふことに大略申すことが出來ます。さうして斯の如き矯風會のやうな團體は、結局個人の集合したものでありまして、その團體の生活に於ても亦かういふ風に智と情と意といふ風に區別することが出來るのではないかと思ひます。さう致しまして私が常に考へて居りまするのに、基督敎徒の社會運動――矯風會或は禁酒會、又は救世軍の如き――は凡てこの情と意に於ては他の團體に決して劣らない所があると始終考へて居ります。即ちこの團體に盡してゐらつしやる諸君は皆眞面目なる考へを以て我々人生生活を送らんとしてゐる方である。それから第二にその眞面目なる精神を以て自分の考を行ふだけの勇氣を皆持つて居られることを信じて居ります。この事は喋々と私が今晩申上るまでも御ざいませぬ、只私が時々恐れまするのに、只眞面目であるといふことと、それから自分の信じてゐることを畏れなく行ふといふことだけでは、この複雜した社會に處して行く上になかなか旨く參らない事がございます。ある時に大學に於て哲學の敎師と學生とが、色々議論を致して居りました時に、一人の學生が愈々議論に敗けて參りましたから先生に申しまするには「私は自分でこの事を深く信じてゐる、もう眞面目に見てゐるのだからこれに間違はない」とかう答へた、所が敎師の言ふのに「お前の言ふ事は眞面目にお前は言つてゐるけれ共、お前は眞理を捉へてゐないからお前の言ふことには權威がない」と言つてその學生を誡めたといふことでございますが、吾々の團體の中にも、斯の如き危險が屢々ありはしないかといふことを恐れ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのであります。即ち餘り自分の信じてゐることを強く見、さうしてそれを行はんとする血氣に逸りまして、社會の組織及びそれを行ふところの順序方法の如きに智が足りないために、折角のよい動機も水泡に歸するやうな場合が屢々あるのではないかといふことを私は恐れます。

恰度これを例にとりまするならば、蒸氣機關のやうなものではないかと思ふ。吾々は立派な蒸氣機關を以て、どん〳〵熱湯を沸して居りますけれ共、御承知の通り社會は日々に進步致しまして、蒸氣機關なるものがだん〳〵複雜なる機械によつて働かなければ本當の意義をなさない、さういふ場合にその機關の構造及び蒸氣の通つて行く線路の如きを知らず、只蒸氣を拵へたところでそれは本當の生產的事業には使へないやうな場合があるのであります。斯くの如く吾々が唯信仰、それからそれに對する勇氣のみでは社會政策の生存競爭の上に於て勝利を得ることはむづかしいのではないかと思ひます。

先程も渡瀨さんが仰いました通り、米國に於ては此度全國禁酒といふことになりました。その禁酒になつた經路をちよつと簡單に考へてみたいと思ひまするが、第一に御承知の通り禁酒運動を起したのは基督教會であります。これは道德的立場からどうしても禁酒をしなければいかぬといふことを教會に於て叫んだのであります。所がその基督教會內に於て叫ばれて居る間は社會運動として餘り有力なものではなかつたのであります、所がこれが稍々有力なものとなつたのは學者が研究致しまして、醫學上から酒精の肉體に害があつて益がないといふことを證明した時に、稍々勢力を得たのであります。併しながら人間といふものは惡いといふ事は分つて居つても、それをやる、皆社會のいろ〳〵なる問題を考へてみるのに、善であるか惡であるかといふことが分らなくて問題が起るのでなくして、それを善であると知りつゝ行ふことが出來ないやうな場合に多く色々社會問題が起るのである。道德的に申しましても、亦生理的に申しましても、酒精は害

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

があるといふことは分りましたけれ共、それでも酒精は益々用ひられた。

所がこれに對して第一に物質的方面から援助をして參りましたのが保險會社であります。御承知の如く保險會社は營利を目的として居りますので、一人でも多くの人が早く死んでくれたならば算盤が立たないわけである、それでありますから保險會社としては、酒精を用ひる人の保險率を高くしなければ算盤が立たないといふことになつた、さうなつてくると酒を呑む人も少し考へなければならぬ。その次に起つて參りましたのは婦人參政權であります、御承知の通りこの度米國は全國の婦人に參政權を與へることになりましたが、これに至りまする迄には各州に於きまして、御承知の如く亞米利加は各州別々に自治を行つて居りますから、各州に於て既に廿幾つの州で婦人參政權を與へて居つた。婦人參政權を與へて第一に得たところの利益はこの禁酒法案であります。御承知の通りどちらかと申せば婦人の方は酒を呑まない、それでお酒を呑んで直接害を蒙るのは婦人と子供であります。男が金を儲けて、その金を直ぐ酒に使つてしまはれては、困るのは奥さんと子供であります。それでありますから自然の結果として、婦人が禁酒法案に贊成の態度に出づるのは當然でありませう。その結果亞米利加に於て婦人が參政權を得た州は續々として禁酒州になつたのであります。

斯の如く婦人參政權が非常なる援助を致しましたが、次に實際社會に於て非常に禁酒法案を助けたのは大きな製造會社及び有力なる工場であります。これは御承知の通りエフィシエンシーを增すために、どうしても職工に酒を呑ませては駄目であるといふことが經濟學上證明されましたから、大きな有力なる工場では職工として酒を呑む者は雇はぬことに致した、從つて志ある所の勞働者は、一方酒を愼まなければ好い位置が得られないといふことになつて參りました。

斯ふいふ風なことを致して、今のやうな四つの方法で以て四面から酒を攻擊致して居る最中に、此度の大

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戰が始まつたのであります。御承知の如く亞米利加の禁酒運動といふものは極く若いもので、約五十年前から組織された運動が始まつたのでありまして、斯の如くにして今度の大戰になりました。所が戰爭で一番大切なことは何であるかといふと、三つばかり申上げてみたいと思ひますが、第一に起つて參りますのは食物の問題、今の戰爭は只鐵砲を撃つばかりではない、兵隊に充分の食物を與へ、さうして兵隊に肉體的勇氣を與へなければならないので、食糧問題は戰時一番大きな問題であります。所が御承知の通り酒を造るために用ふる穀物といふものは毎年何億萬弗といふものでありまして、斯ういふことでは獨逸と戰つても敗けてしまふだらふといふことが、第一に中央政府の注意を惹きまして、戰時中穀物を一切酒精のために用ひしめないといふことになつたのであります。第二に戰爭のために起つたのは能率問題であります。御承知の通り兵卒が酒を呑んで居つては今の文明の戰爭は出來ない、昔は唯一人で斬り合ふので醉つ拂ひでもどうにか出來ましたけれ共、今は隊長の命令に從つて非常に細い機械的の仕事をしなければならないので、酒を呑んでゐるやうな人、又は酒精中毒に罹つてゐるやうな人は、迚も戰爭は出來ないのであります。それで陸軍の軍事的必要から禁酒を實行致しました。それからもう一つは軍需品を造る工場で、色々に彈藥や何かを造る場合に、酒を呑んで働いて居つては危險至極であるといふので、軍需品製造所では嚴重に禁酒を實行致しました。斯の如くして亞米利加は獨逸との大戰に大勝利を得たのであります。所が御承知の通り亞米利加人は非常に實際的の國民でありまして、戰さが濟んでしまひましても、禁酒法案を廢さない、何と申しますかといふと、戰時によかつたものならば平和になつてよくないといふ道理はない戰時に有効であるならば平和には一層有効な筈であるといふことが大政治家の頭にありましたために、亞米利加の輿論は凡て禁酒の方に向つたのであります。斯の如くにして今度全國禁酒にしなければならぬといふことになつたのであります。こ

の徑路から考へてみますと、私共非常な興味を持つて居ります矯風會の事業の如き、道德運動も勿論その根柢であり蒸氣を起すやうな原動力ではありますけれ共、この禁酒の思想を凡ての社會——日本の社會の間に染み込ませない内は　本當に會の目的を達することが出來ないのではないかと思ひます。

亞米利加に於て先年亡くなつたブカデー、ワシントンといふ有名な學者がありました。この方が斯ういふ面白いことを申しました。基督教は丁度卵のやうなものである、卵が殼のまゝでゐる間は余り役にたゝない所がこれを割つてしまつて御菓子を造つたり又色々な食物を造るのに用ふ時に、初めて人間の肉體の要素になつて働くのである、基督教が色々な形式に囚はれて、ちやんと型にはまつてゐる間は、それは本當の社會的勢力はない、それを打ち壞して凡ての社會の中に染み込んだ時に初めて基督教の實際の勢力が發展するのである、斯う申して居ります。それで我が矯風會も前申上ました通り、個人の集合したところの團體でありまして之が日本の社會を動かすには同主義及び同步調に立つてゐる團體が協力して、經濟界といはず政治界といはず、凡ての方面から惡を總攻擊しなければどうしても最後の勝利は得られないといふことを、私は切に感じてゐる次第であります。キリストの仰つた言葉に「一粒の種子もし死なざれば一つの種子にてあらん、若し死なば多くの實を結ぶべし」といふことがあります。即ちある時には積極的に自分の命を棄てなければ本當の命を得ることは出來ない、斯樣なことを仰しやいました。これは萬世に變らぬ眞理であると思ひます。若しも矯風會が矯風會といふ團體のみに囚はれて、一つのあるものに凝まつてしまつたならば、それは一つの種子にはなるけれ共、これが打壞れて社會全體、政治界に於ても、實業界に於ても、凡ての方面にこの精神が擴つた時に、初めてキリストが仰しやつたやうな多くの實を結ぶのではないかと切に感じてゐる次第であります。今晩は簡單に私の常に考へて居ることを申上げまして歡迎の辭に代へます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我國の禁酒は神代より

醫學博士　片山國嘉

今日禁酒事業といふものが非常な力となつて全世界を動かして居ります、米國の如きは憲法を以て禁酒を國是として居ります、其他の諸國でも各其運動の爲に盡して居る事は偉大なものです、從つて禁酒運動といへばよく輸入されたものゝやうに考へますが、決してそうではありません、我國に於ては遠く神代に禁酒したまふた神々があつたのであります。

先年私は鐵道青年會の需に應じて九州地方に禁酒宣傳の爲に巡廻講演した事がありました、其時、餘裕のない順序書の中から一日の暇を漸く造つて宮崎縣の津磨神社に參詣致しました、此津磨神社と申すのは神代の木花咲耶姫を祀つてある宮であつて、神酒としては甘酒を使用されるといふ事を聞いて居たからであります、私は神官に面會を求めて種々お話を伺ひました。木花咲耶姫御在世の時は常に甘酒のみを用ひられたそうで、此お宮には大祭の時備る神酒は普通の酒を決して用ひず甘酒を作つて備るといふことです、津磨神社の先に三宅神社といふのがありまして、木花咲耶姫の御良人に當たられる瓊々杵命を祭つてある神社があります、時間がないので行く事は出來ませんが此お宮にもやはり甘酒を神酒として用ひられるといふとです

斯うして神代に於てすでに禁酒主義の神であつたといへる二柱の命を有する我日本は、禁酒運動を海外から來たものなどゝいふことなく、古への良き習慣に歸るといふ立場からも此運動を効あらしむるやうにしなければなりません。

古い禁酒をあたらしい此時代に實現する事は、日本國民の義務であらうと思ひます、このよき思想をぜひ發達させたいものであります。(文責記者に在り)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先代小林富次郎翁の賜

日比野雷風

國民禁酒會長青木庄藏氏が東京に居を移されましたので其歡迎會を有志の者が開きました、其時日比野氏がテーブルスピーチになさつたお話です、同氏のお許を得て玆に掲載いたします（東）

皆様の御覧の通り、私は肥つて居ります　私　は劍道の指範をいたして居るもので、今日此様な席上に皆様方と御同席させて頂く事の出來るのは全く先代小林富三郎翁の賜でございます、私は實に大酒飲でいつも貧乏許りいたして居りました、小林翁は私に向つて、いくら劍道の達人であつても飲酒の慾に征服されて居るやうではだめではないか、一つ其慾を平げては如何、と御忠告下さいました。今日でこそ私は斯うして金で造つたものを身につけ、紋付羽織袴といふ風彩で居りますが、酒をやめなかつた時は實に憐れな様子でございました、そしていつも小林家に參つては小使を強請り御心配を掛けたものです。

或る正月　私　は例の通り酒を飲んであやしい様子をして小林家に參りました、主人公の小林翁は出て來られました、見れば爪の處の切れた足袋を穿いて居られます、私が「御主人此足袋はあんまりひどいぢやありませんか、此御身代の御主人ともあるものが――」と申ますと、「是は私の寶です、こうやつて、働くのです、が日比野さんあなたは酒を一つ征服して眞實の劍道の士になられてはどうです、」と申されました、實を申ますと私は飲んで敎へる時の苦痛もまた誤もしつて居るのですが、どうも此敵だけは服しきれずに居ました、然し先代翁の言は身にしみましたので、斷然禁酒を誓つたのです、それ以來　私　は身代も出來れば健康も増す、道場の如きは實に立派なものを建てる事が出來ました、是は全く小林翁の賜です、私は今日では身を以て禁酒の必要を人様に宣傳して居る次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矢島先生歡迎會の記

「先生！お歸朝の時は此會館で歡迎會をやらせて頂きませう！」と山室大佐の御言葉を便りに、救世軍の會館借用を願出た、許可された、早速歡迎會の準備に掛つた、廓清會の伊藤秀吉氏は廣告をお引受け下さつて、一萬枚の撒しは立派に出來た、各教會、婦人會、女學校等に配付した、猶開會の當日婦人ホームの相澤姉は數名の婦人等を引きつれて會館附近の撒し配りをして下さつた、大正九年九月十六日、午後七時半晴天、一時間半前から場には入場者を見た、救世軍式に氣持のいゝ接對を受けて委員は働いた、何から何まで行屆いた救世軍の御接對には一方ならず感激した。

開會時刻七時半矢島先生初め一同演壇に着席、小崎夫人の司會に初まつた、讃美歌「たてよいざ起て」の合唱に心勇み大藤八重子夫人の嚴粛な祈禱に襟を正し、開會の辭について老會頭矢島楫子先生は壇上に立たれた、しばらく拍手はやまなかつた、會衆は話を伺ふ前に、先其健な先生の態度を充分に見なければならぬといふ面持であつた、先生の話は一時間近く續いた、渡英の決心から初まつて細かに其旅中の日常に及んだ、また話進む中に興味深く會衆を笑はせられたりした。歸路米國の各都市を歴訪された時の土地名を十幾つスラ〱暗記して述らるる時は、若き男女の學生等は「よくよく記憶していらつしやる」とさへ言ふたとの事である、神の祝福は實に先生の上に豊かにかゝつて居る事を人も吾も認めた。

渡瀬夫人の報告ありて後、小崎道雄氏の歡迎の辭があつた、司會者小崎夫人の息である、母は子を喜んで人に紹介する其美くしさ、大きな誇りである、櫻井ちか子女史は女史一流の洒脱なる態度で歡迎の辭を述べられた、特に其喩話が異にせまつて一同に深き感興と教訓とをのこした、山室大佐は起たれた、心から歡迎さるゝと同時に今日手にしたといふ小冊子「藝妓とは何ぞや」について熱烈なる反省と警告とを聴集に與へられた、一同はスッカリ緊張した、來會さるゝはずの江原素六先生は沼

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

津に葬儀があつて列席されたので遺憾ながら御出が出來なかつた 讃美歌「みのれる田の面は」を合唱して、小崎牧師の祝禱を以て終つた。

人々は先生を取りまいて御無事御歸朝を祝した、「私の母が八十八です、先生の御盛な御樣子を拜見して感慨無量です！」と名刺出された人もあつた、二人の盲者の爲に先生は特に段を降りて其人に握手された。

「白髮は榮の冠なり、」實に先生は此高齡を持たれるといふ丈ですでに神の榮を表はして居るのである、增して日々に新たに其心を生かしてゆかるゝに於てはである。

先生の上に神の御祝福を祈る

此日聽集は千人を出た、

救世軍が一方ならぬ御配慮下さつた事を厚く御禮申上る。

青木庄藏氏を迎ふ

先頃逝かれたガンデヤ博士の來朝の賜として我國に國民禁酒同盟會が生れた、其會長として青木庄藏氏は決然起たれた、爾來日本禁酒同盟會々長安藤太郎氏と協力日本の禁酒運動に盡力されて居る。

今回、居を京都より東京に移されて大に其主義主張を盛んにし我國禁酒運動の爲に盡さんとの事である。

九月十八日上野精養軒に同志の發起で盛なる歡迎會を開いた 阪谷男、長尾半平氏等の辭があつて後晩餐を共にした改造の叫かしましき時其實力と熱誠とを以て此國の禁酒運動の爲に盡さるゝ氏を迎へて感謝する次第である、一致協力只此一事をつとめん哉。

□□會員會友消息□□

□東京府内務部長としてまた慈善協會副會長として一方ならぬお世話になりました岩田衞氏は鳥取縣知事として御榮轉になりました。

□國民禁酒會長青木庄藏氏は京都から東京に御移轉になりました。

□村岡花子夫人は男のお子を、鵜飼啓子夫人は女のお子を御誕生になりました。

□ガントレット恒子夫人は十一月上旬頃歸朝されるとお便りがありました。

祈禱團

九月廿七日月曜日午前十時本郷彌生町皆川夫人宅に會合す、古田、久布白、守屋皆川の四名、大會後四名の者は親を失ふ者、其人を失ふ者、病氣の爲に臥床せるもの、傳道の爲外出せるものといふ有樣で遂に今日まで四人が會合する機會を失して居ました、幸此日は靜かに集まり、心ゆく許り會の爲に語り、祈らんとする目的について充分考へて後、心よりの祈を捧げました、晴れたる朝の如き心持を得希望に滿ちて別れました、全國にある祈禱團諸姉力

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を合せて大なる目的の爲に祈らうではありませんか。

常置會員

九月十三日本部に於て開く來會するもの小崎、渡瀨、川崎、根本、皆川、藤井、千本木、板倉、二階堂、宮川、守屋、大橋、大藤、伊藤、矢島、久布白、

一、矢島先生歡迎について、
二、松本氏を名譽會員に推選する件、
三、財務の件、
四、慈愛館の件、
五、此秋の運動、

時間勵行の結果は非常な好結果、四時には感謝して散會。散會後プレストン女史來會さる、報告の爲なり。

大牟田支部

八月の例會にて經驗深きある救世軍の大尉より自由廢業に關する御話を聞き、出席者一同彼等哀れむべき婦人等のために吾等の盡すべき責任を深く感じぬ。

九月の例會にては九州部會に提出すべき議案につきて協議し、今後例會の開會前卅分を祈會にすることに決せり。何卒一同が新に燃されて起ち上るやう御いのり頂きたい。新入會員六名。

四日市支部

九月八日午後七時永田支部長司會の下に圖書館樓上に於て西野貞子女史の御立寄下されしを幸ひ婦人矯風會講演會を開く、「家庭の三大義務」てふ演題にて、聽衆二百人を得たり、盛會なりき、感謝す、（河島春枝）

洲本支部

八月九日愈々第一回總會を開催し具體的に支部組織も整ひぬ、諸姉の厚き御助力と御愛とを讃美す、現在會員數十六名。

□□編輯室より□□

□此度の號は禁酒について書きたいと思ふて居りました處丁度新眞婦人が禁酒號を出されたので御紹介と合せて片山博士や日比野雷風氏のお話を掲載しました。

□各支部にも御依頼して新眞婦人の請願の應援をして頂きたいと思ます、此前治安警察法の廢止について平塚氏の企に各部長が應援して下さつたやうに願いたいものです。

□此號に載せました山室、櫻井、小崎の三氏のお話は「雄辯」といふ雑誌社が速記なさつたものを拜借したのです。同誌は是等を十一月號に掲載されるそうですが、機關雑誌といふので心よく掲載を許して下さつたのです、厚く御禮申升。

□出來る丈廣く諸姉の御意見を此誌上に發表したいと思ますから何でも御投稿下さる事を願ます、また紙面の活用について御氣付の事は御遠慮なく教へて頂きたいのでございます。

□海外の讀者からの御手紙は掲載しますと非常に喜んでお知らせを受けます、どうか御投稿といふと御迷惑なら御手紙を下さるやうにお願いたします。

□慈愛館の記事について諸々から御質問をうけます、來月號にはもつと具體的に決定した事を皆樣の前に書きませう、慈愛館、婦人ホームの事業に興味を持たれる方で其働人になりたいと御考のある方は履歴を御送り下さいませ。

廣告

少年禁酒軍徽章

一個　六錢

郵稅　二錢

御注文次第お送り致します

赤坂新町三ノ四六

婦人矯風會少年部

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

children, the average age was nineteen and half years. It is instructive to note that of these, 20 were illegitimate, 79 had bad mothers, and 81 bad fathers. The parents of 110 used alcoholic drink, the parents of 114 used tobacco. These facts show clearly the strong influence of circumstances of birth and early environment.

51 met their fall from virtue in their own homes, 15 when working as housemaids in the homes of others, 9 in factory, 7 in school, and other at various places. That the standard of home life needs raising is evident, for by far the greater number were led astray in homes.

The religious classification, (individual or family connection) is as follows; Christian 12; Buddhist 92; Shinto 2; No religion 5.

During 1919, 17 girls ran away, 5 were sent out to school, 1 was expelled, 6 returned to their homes, 5 died, 4 were sent out to service, 3 placed in the hands of friends, and 1 married, 5 were baptized and 8 were candidates for baptism. At the end of June 1920, 6 were students in Bible Training Schools.

In addition to house and garden work, reading, sewing and other classes, three lines of industry have been carried on—Laundry, Knitting, and Breadmaking. These industries not only train the girls in useful occupations and give them needed discipline for their whole being, but also are the source of a little income for the girls, the most of the profits being used for their incidentals and clothing. The laundry shows a deficit of 324.98 yen, but is considered of value as the "gymnasium" of the Home. Breadmaking shows a profit for the year of 691.04 yen. Knitting shows a profit of 199.75 yen, with knitted goods on hand for summer sale estimated at 830.35 yen.

The new Sanatorium, sorely needed for years, was dedicated November 29, 1919. The building, exclusive of water, light, drainage, and furniture, cost 8,167.81 yen. A new artesian well was bored at a cost of 1,679 yen. God wonderfully provided funds for these, and the year closed without debt.

Miss C. Penrod, who for eight years has been the devoted superintendent, has during the past year been ably assisted by Miss I. W. Smith and Miss A. Soale, and by four Japanese teachers with three helpers.

The three foreign workers have been supported in this work by their Mission, the Japan Evangelistic Band. The W. C. T. U. is glad to give public expression of gratitude for this assistance, so freely rendered.

In April, Miss Penrod, feeling a call to enter on rescue work of a wider scope, tendered her resignation, and this was regretfully accepted. At the same time she requested that the girls then under her care be permitted to remain in her charge. After careful consideration by the Trustees, the National Executive Committee, and the Foreign Auxiliary, this was granted. At the end of June, when Miss Penrod's resignation went into effect, full financial and spiritual responsibility for these girls was given over to her, and she was granted use of the Jiaikan property till the end of October. By that time the trustees hope to find a suitable superintendent and begin to gather in new girls, of whom there are legion needing help.

The Treasurer, in submitting this report, begs to thank all who by their prayers and gifts have so loyally supported the Jiaikan in past years, and asks for their continued interest and assistance. Contributions to be sent to Miss Lewis, Friends Jo Gakko, Kouncho, Shiba, Tokyo.

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Resolutions

Passed by the Annual Convention of the Foreign Auxiliary of the W. C. T. U. held in Karuizawa in August.

1. Resolved:—That our Auxiliary use its influence against the insertion of advertisements of alcoholic liquors in English Newspapers in Japan.

2. Resolved:—That we petition the Executive of the World's W. C. T. U. to appoint as early as possible a foreign Temperance worker to give her whole time to Temperance and Purity work in Japan.

3. Resolved:—That we co-operate with the Membership Committee in doubling the membership during the coming year.

4. In view of the tremendous increase in the use of alcoholic drinks in in Japan, Resolved:—

That each member of the Auxiliary make a special effort (*a*) to organize L.T.L. wherever possible and to disseminate temperance information through existing organizations.

(*b*) To discuss social problems with teachers of both Mission and other schools with a view to arousing an active interest in temperance work, and

(*c*) To increase the circulation of the W. C. T. U. publications, especially Fujin Shimpo and Shonen Shimpo.

5. Be it further resolved:—That Churches and Mission Schools be earnestly requested to observe an Annual Temperance Day (preferably the 1st Sunday in November; the World Temperance Sunday), on which addresses on Temperance and Social Purity and kindred subjects shall be given and special prayer offered.

6. Resolved:—That members of the W. C. T. U. be asked to interest themselves in the films shown in their respective localities, and that they ask the police to allow them to co-operate in the censorship of films.

7. Resolved:—That a publicity Committee be appointed to inaugurate a movement to inform visitors to Japan of the true status of 'geisha' and to abolish the custom of employing 'geisha' for the entertainment of foreign guests, in co-operation with the National W. C. T. U.

8. Resolved:—That we reiterate the resolution of last year, that in co-operation with the National W. C. T. U. we ask our Superintendents of Petitions, of Purity, and Rescue work, to urge the Japanese Government to take measures to prevent the export of women for vice purposes and of all alcoholic drinks into other countries.

9. Resolved:—That a W. C. T. U. membership prayer for adults and children for daily use, be prepared by the Executive Committee.

10. Resolved:—That these resolutions be printed and distributed to every missionary in Japan.

Jiaikan Report

Presented at the Annual Conference of the Foreign Auxilitary of the W. C. T. U. held in Karuizawa, by Miss Lewis.

The Rescue Home (Jiaikan) established nearly thirty years ago, managed and supported jointly by the Japanese National W.C.T.U. and the Foreign Auxiliary of the W.C.T.U., has aided during the past year about 125 women and girls, 102 being in the home at the end of June, 1920. The classification for 1919 was a follows: Licensed prostitutes 7; unlicensed prostitutes 14; incorrigible 61; maternity 18; preventive (children) 17. Excluding

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝(但祭日及日曜日の他)
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峯間、兩副院長は當院に在勤

東京麹町區三番町三十番地(市ケ谷見附上)
電話 六二番
九段 六六三番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

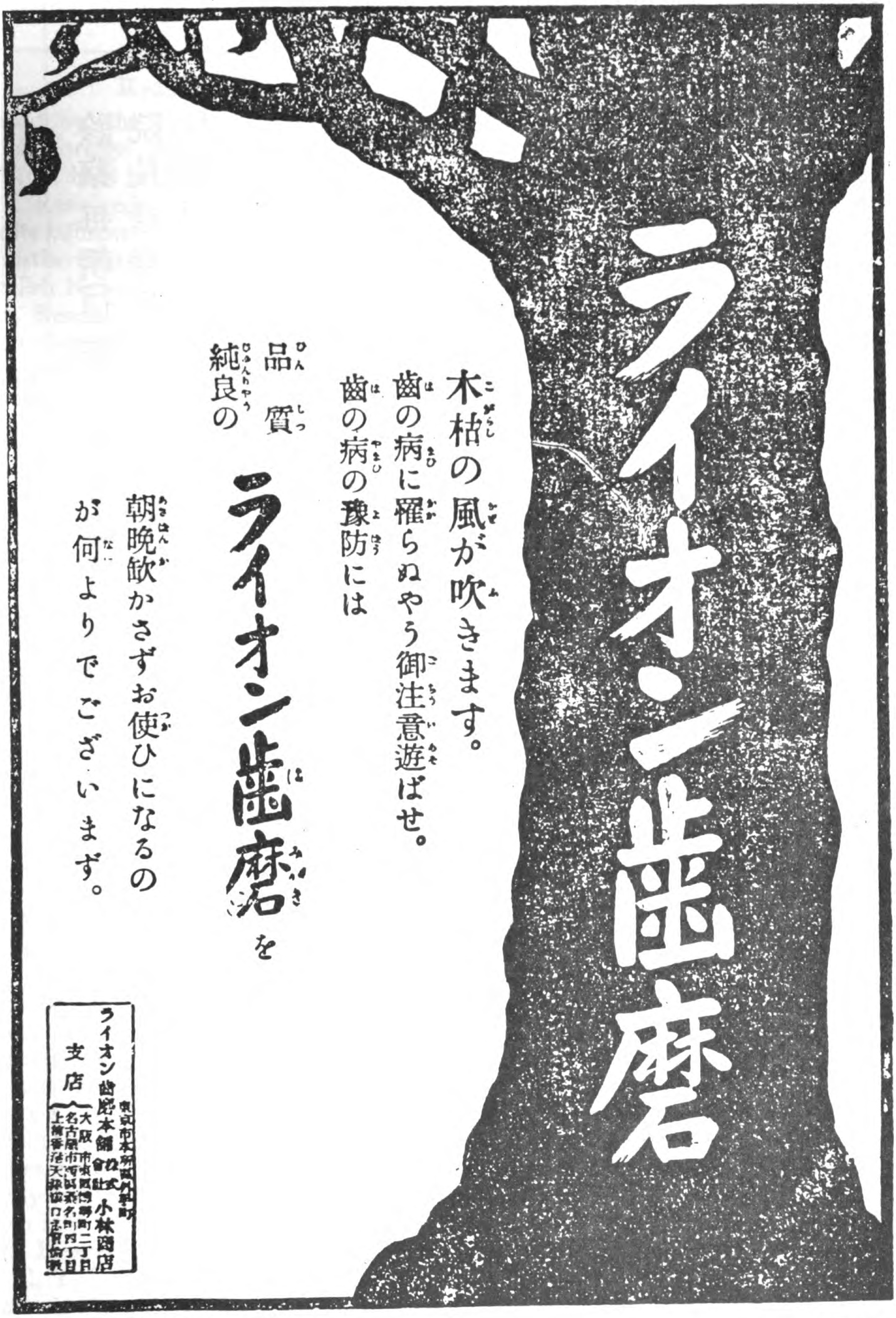
電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ケ崎海濱(從停車場約半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎日午後(但祭日及日曜の他)
◎募看護婦志願者及雜事婦

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第三百七十八號（第三種郵便物認可）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA